

日本特殊陶業株式会社

第118期中間 株主通信

NGK **NTK**
スパークプラグ ニューセラミック
日本特殊陶業

2017年4月1日から2017年9月30日まで



IGNITE YOUR SPIRIT

日特進化論の最終章

株主の皆さまには、平素よりご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

電気自動車（EV）へのシフトに関する昨今の一部報道にもありますように、自動車業界にとって大きな転換の時代が訪れています。現状、全世界での自動車生産のうち内燃機関を搭載しないEVの比率はわずかであり、内燃機関を搭載したプラグインハイブリッド車やハイブリッド車が増加していくという見方もあります。しかしながら、長期的にEVへシフトしていく流れがあることは避けられず、今後を見据え、当社は今まで以上に飛躍していかなければなりません。

昨年より第7次中期経営計画をスタートし、2021年3月期に売上高5,200億円、営業利益1,000億円を目標に、取り組むべき3つの課題として「既存事業のさらなる強化」「新規事業の創出」「強固な経営基盤の構築」を掲げています。「既存事業のさらなる強化」に

ついて、主力の自動車関連事業での需要が旺盛な好機を逃すことなく、利益を最大化していくことを目指してまいります。「新規事業の創出」においては、当社の技術力を活かしながら、環境エネルギー・医療・次世代自動車の新たな事業領域へ着実に歩みを進めています。新規事業の創出が急務となっている今、挑戦するスピードをさらに加速させていく必要があります。また、新しいことに挑戦できる仕組みや企業風土を育て、強固な経営基盤をグローバルで構築し、スピード感のある経営を実行してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役
取締役会長兼社長
社長執行役員

尾堂 真一

■ 長期経営計画『日特進化論』の全体像



既存事業

グローバル生産体制の構築

新興国を中心としたグローバルでの自動車市場の拡大に伴い、今後はスパークプラグの需要が一段と増加していきます。また、欧州地域を中心に世界各国で厳しくなっていく燃費・排ガス規制を背景として、各種自動車用センサの需要も増加しています。

これらに対応するため、当社はタイNGKスパークプラグ株式会社（以下、タイNGK）やインド特殊陶業株式会社でそれぞれ工場を増設し、生産能力の強化を図ります。また、需要増加への対応と同時に、グローバル生産体制の最適化を図ってまいります。



タイNGKの新工場

新規事業

平板形SOFCの用途拡大へ

現在開発中の平板形の固体酸化燃料電池（SOFC）は、従来の家庭用に加えて、より出力の大きい業務・産業用にも用途を拡げています。当社は、日立造船株式会社に業務・産業用SOFC発電装置用のセルスタックを供給していますが、2017年6月より、日立造船株式会社は地方独立行政法人大阪産業技術研究所（ORIST）と共同で実証事業を開始しました。

業務・産業用分野のSOFCは、高効率・長期信頼性が求められます。当社は、セルスタックの発電効率向上に取り組み、環境負荷の低減に寄与していきます。

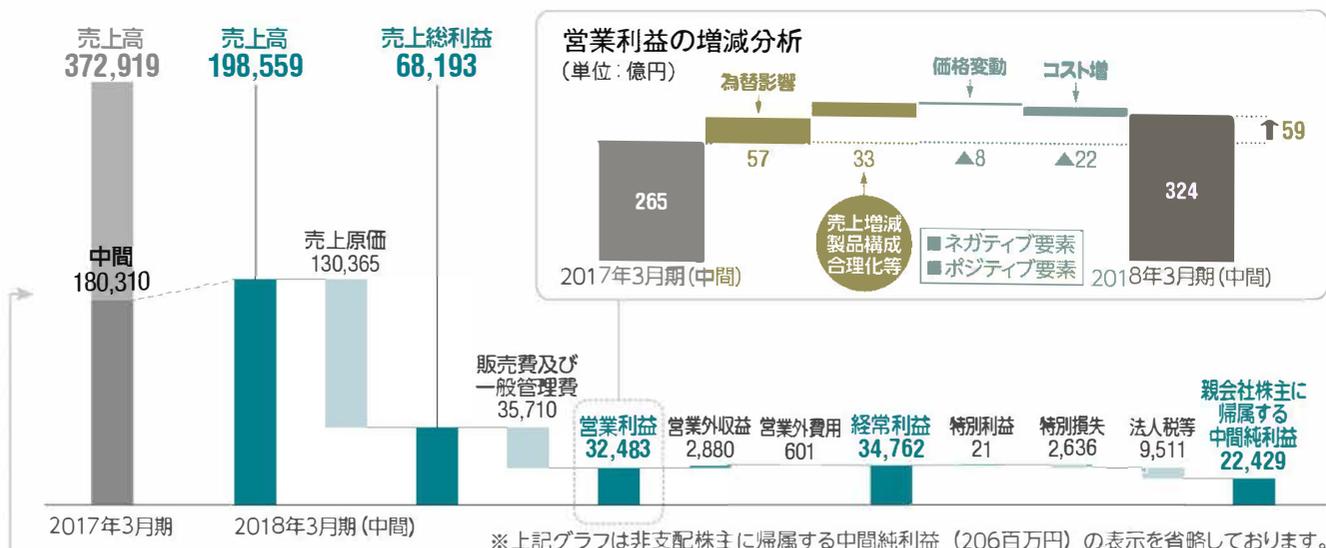


平板形SOFCスタック

*本事業は、日立造船(株)が業務・産業用SOFCの開発に国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成事業「固体酸化燃料電池を用いた業務用システムの実用化技術実証」の支援を受けて実施するものです。

Financial Data 財務状況

■ 連結業績ハイライト (単位: 百万円)



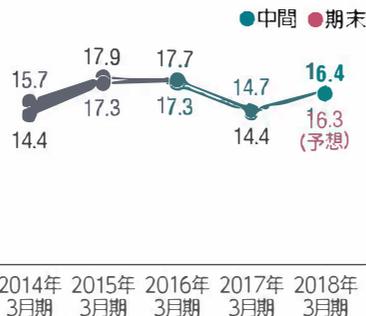
■ POINT

2018年3月期第2四半期の業績は、売上高および経常利益・純利益で過去最高となりました。自動車関連事業では、中国の好調な自動車販売を背景に、当社販売も堅調に推移いたしました。また、半導体関連事業においても、前年同期比で大幅に収益が改善いたしました。円安の影響も受け、営業利益は、前年同期比で59億円の増益となりました。

■ 通期予想 2018年3月期 (単位: 百万円)

売上高	408,200
営業利益	66,400
経常利益	70,500
親会社株主に 帰属する 当期純利益	47,000

■ 売上高営業利益率 (単位: %)

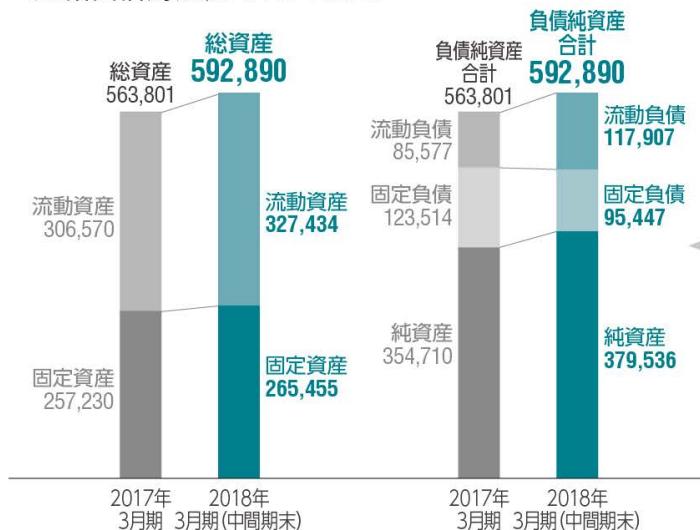


■ ROE (単位: %)

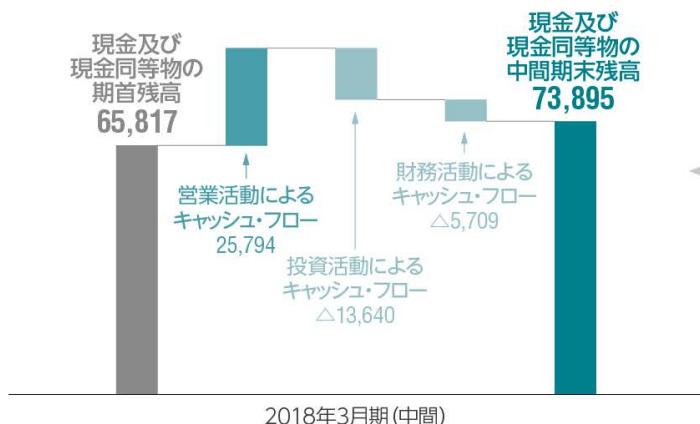


※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結貸借対照表 (単位：百万円)



■ 連結キャッシュ・フローの概要 (単位：百万円)



※上記グラフは現金及び現金同等物に係る換算差額 (1,630百万円) 等の表示を省略しております。

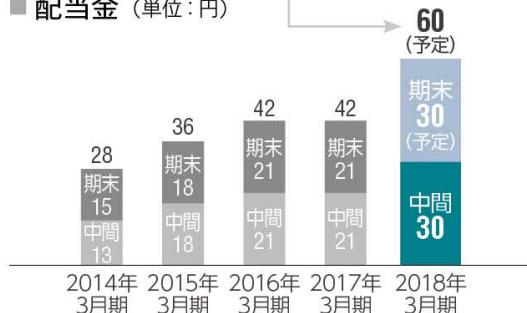
■ POINT

2017年3月期第2四半期では、新規に持分法を適用した関連会社株式の取得があったため、当第2四半期は、投資活動によるキャッシュ・フローが減少いたしました。また、通期での設備投資計画を見直し、投資時期を検討した結果、通期では期初計画よりマイナス104億円の380億円の設備投資へと変更しています。

■ POINT

当社は、株主の皆様への利益還元を経営における最重要政策のひとつと認識し、安定的な配当を基本方針としております。中間配当金につきましては、業績および今後の事業展開を踏まえ、前年より9円増配し、30円とさせていただきます。また、期末配当金につきましても同様に30円を予定しております。

■ 配当金 (単位：円)



詳細は当社WEBサイトの投資家情報ページでもご覧いただけます。▶ <https://www.ngkntk.co.jp/ir/index.html>

Segment Overview セグメント別業績の概要

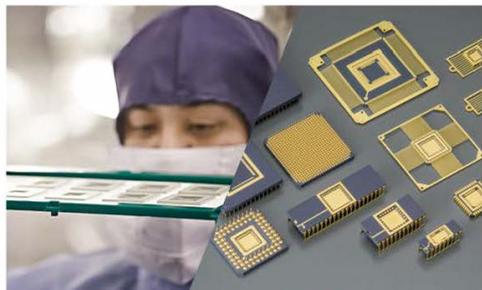
自動車関連事業



売上高 **1,687** 億円 営業利益 **332** 億円

北米においては前年同期を下回っているものの、中国を始めとした好調な新車販売を受け、当社販売も堅調に推移しました。また、補修用製品の販売も、中国市場及びASEAN地域での好調な販売を受け堅調に推移しました。この結果、前年同期と比べ当第2四半期の売上高は10.3%アップの1,687億43百万円、営業利益は11.3%アップの332億4百万円となりました。

テクニカルセラミックス関連事業



半導体関連 売上高 **91** 億円 営業損失 **15** 億円

不採算製品の撤退を進めており、全体としては前年同期に比べ減収となっていますが、スマートフォン向け部品等の出荷が伸びたことと、拠点の集約による生産性の向上により前年同期に比べ収益が改善しました。この結果、前年同期と比べ当第2四半期の売上高は10.2%ダウンの91億48百万円、営業損失は15億3百万円(前年同期は33億43百万円の営業損失)となりました。



セラミック関連 売上高 **188** 億円 営業利益 **6** 億円

工作機械向け及び産業機器向けの出荷は堅調に推移しました。特に半導体製造装置用部品の出荷が伸びたことが売上高の増加要因となっています。この結果、前年同期と比べ当第2四半期の売上高は22.5%アップの188億10百万円、営業利益は940.7%アップの6億72百万円となりました。

※他に、「その他」の区分として、売上高18億57百万円、営業利益1億9百万円があります。

※記載金額はすべて連結ベースで表示しております。

ESG投資銘柄に選定

日特は、ESG投資銘柄に選定され、国内外の投資家から高い評価を受けています。また、ESG投資銘柄に選定されることで、ESG投資家からの注目を集め、株価の安定化に貢献しています。

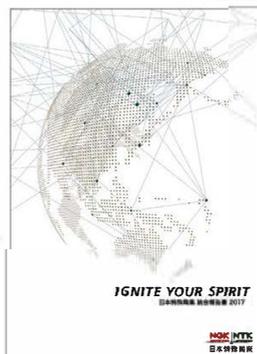
Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index	ESG Awardee Award	FTSE4Good Index Series
FTSE Blossom Japan Index	MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数	MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)



FTSE Blossom Japan

統合報告書の発行

従来、アニュアルレポート（英）とCSR報告（日・英）をそれぞれ発行し、財務情報と環境や社会への取り組みなどの非財務情報の発信を行ってきました。今年より、新たに「統合報告書」として一本化したものを発行しました。ステークホルダーの皆さまとのさらなる良質な対話を目指していきます。



統合報告書2017

▼ 詳しい内容はここからご覧いただけます。▼

https://www.ngkntk.co.jp/ir/library/integration_report.html

CSR 社会貢献活動

名古屋の市立小学校の児童とその保護者の方を対象に、日本特殊陶業市民会館（名古屋市）にて劇団四季ファミリーミュージカルを開催し、約1,000名をご招待しました。



劇団四季「ガンバの大冒険」(撮影者：下坂敦俊)

Stock Information 株式データ (2017年9月30日現在)

資本金	478億69百万円
発行可能な株式の総数	390,000,000株
発行済み株式の総数	212,544,820株
株主数	16,338名
大株主	

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
第一生命保険株式会社	16,752	7.89
明治安田生命保険相互会社	13,794	6.50
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	12,739	6.00
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	11,252	5.30
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,541	3.08
全国共済農業協同組合連合会	6,338	2.98
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	5,844	2.75
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社トヨタ自動車口	3,929	1.85
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口9)	3,681	1.73
日本生命保険相互会社	3,563	1.67

持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別持株比率



事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先 (郵送先)	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京・名古屋(第1部)
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.ngkntk.co.jp/ir/public_notice/ (ただし、事故やその他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および中日新聞に掲載いたします。)
(ご注意)	<ol style="list-style-type: none"> 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、同行へお問い合わせください。 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店にお問い合わせください。

NGK NTK
スパークプラグ ニューセラミック
日本特殊陶業



事業内容や財務情報の詳細は
当社WEBサイトをご参照ください。

<https://www.ngkntk.co.jp>



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

